

2021-06-07

遺伝子組換えアスペンの様子

昨年の実験で与えた深刻な水不足ストレスにより、未だ植物に影響を与えている様子です。この情報もストレス耐性の評価指標に使えないか検討しています。また、昨年と同様の試験の追試も検討していたのですが、植物体の状態が揃わないので断念しました。今後も経過観察は続けます。



茎頂付近まで冬芽からの萌芽が見られた個体

→ストレスによる傷害が大きかった



昨年の主茎や側枝からは萌芽が見られず、株元から新たなシュート形成が見られた個体

→ストレスによる傷害が大きかった